

## 日興MMF (マネー・マネージメント・ファンド)

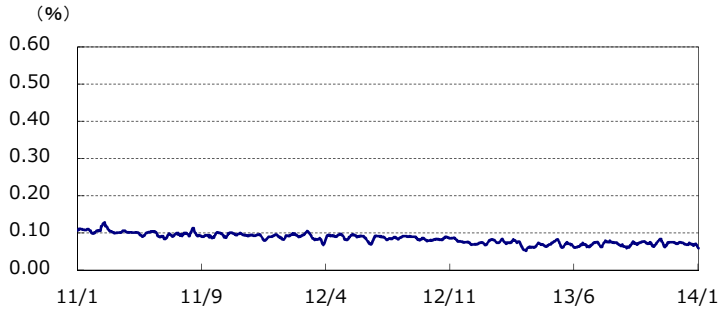
## ファンドの概要

設定日：2006年6月1日  
 信託期間：無期限  
 決算日：毎日

## ファンドの状況

基準価額：10,000円  
 純資産総額：303.70億円  
 信託報酬率：年率1.0%以内  
 (作成基準日現在) 0.02737%

## 7日間平均利回りの推移



## 組入資産の種類毎の残高

区分	額面金額 (百万円)	評価額 (百万円)	組入比率
国債証券	6,700	6,700	22.1%
地方債証券	0	0	0.0%
特殊債証券 (除く金融債券)	6,780	6,810	22.4%
金融債券	3,000	3,005	9.9%
普通社債券	8,040	8,066	26.6%
新株予約権付社債券 (転換社債)	0	0	0.0%
CP	0	0	0.0%
CD	—	0	0.0%
その他資産	—	5,787	19.1%
合計	—	30,370	100.0%

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。  
 ※「その他資産」は、コール・ローン、指定金銭信託、  
 現先取引、未収金、未払金等です。

## 格付別構成比率

公社債		短期金融資産	
格付	組入比率	格付	組入比率
AAA	0.0%	A-1	0.0%
AA	46.3%	A-2	0.0%
A	8.6%	A-3	0.0%
BBB	0.0%	NR	0.0%
BBB-	0.0%	その他資産	19.1%
BB以下	0.0%		
A-相当以上 (満期保有目的債券)	0.0%	A-2相当以上	0.0%
BBB相当以上	0.0%		
国債、政府保証債、地方債	26.0%		
合計	80.9%	合計	19.1%

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。  
 ※公社債の「A-相当以上」「BBB相当以上」及び短期金融資産の「A-2相当以上」は、投資信託協会自主ルール「MMF等の運営に関する規則」に基づき当社が作成したガイドラインで判断したものです。  
 「BBB相当以上」及び「A-2相当以上」の上段は1社の信用格付業者等による信用格付があるもので、下段は信用格付業者等の信用格付がないものです。  
 ※「その他資産」は、コール・ローン、指定金銭信託、現先取引、未収金、未払金等です。  
 ※国内発行体はR&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの順に優先して適用し、海外発行体は、Moody's、S&P、Fitch、R&I、JCRの順に優先して適用しています。  
 ※政府が保証しているCPはA-1に含めています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 組入資産の発行体別組入比率（上位5社）

公社債（国債等および金融債を除く）			金融債		
順位	発行体名	組入比率	順位	発行体名	組入比率
1	三菱東京UFJ銀行	4.3%	1	信金中央金庫	4.3%
2	日本学生支援機構	3.9%	2	商工組合中央金庫	4.0%
3	高速道路機構	3.6%	3	農林中央金庫	1.6%
4	みずほ銀行	2.6%	4		
5	日本政策金融公庫	2.6%	5		

C P			
順位	発行体名	組入比率	備考
1			
2			
3			
4			
5			

C D 等			
順位	発行体名	組入比率	備考
1			
2			
3			
4			
5			

※「国債等」は、わが国の国債（政府短期証券を含む）、政府保証債券です。  
 ※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

## 満期保有目的債券

銘柄	利率	額面金額 (千円)	評価額 (千円)	償還年月日
小計	—		—	—
小計	—		—	—
合計	—		—	—

（注）2014年1月31日現在、満期保有目的債券の残高はありません。

※基準価額は信託報酬控除後の値であり、1万口当たりで表示しています。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。  
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ■お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／国内／債券／MMF  
 ご購入単位 : 1万円以上1円単位  
 ※別に定める場合この限りではありません。  
 ご購入価額 : お申込日の翌営業日の前日の基準価額  
 信託期間 : 無期限（2006年6月1日設定）  
 決算日 : 毎日  
 収益分配 : 原則として、信託財産から生ずる利益の全額を毎日分配します。  
 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
 ご解約価額 : 解約請求受付日の翌営業日の前日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額  
 ご解約代金のお支払い : 原則として、解約請求受付日の翌営業日からお支払いします。  
 ※ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件10億円を超える解約につきましては、原則として、解約申出日から起算して5営業日目を解約請求受付日として、当該解約請求受付日の翌営業日から解約代金をお支払いします。

## ■手数料等の概要

- お客様には、以下の費用をご負担いただきます。  
 <お申込時、ご換金（解約）時にご負担いただく費用>  
 ・購入時手数料：ありません。  
 ・換金（解約）手数料：ありません。  
 ・信託財産留保額：取得日から解約請求受付日の翌営業日の前日までの日数が30日未満の場合は、1万口につき10円の信託財産留保額が差し引かれます。  
 <信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>  
 ・信託報酬：元本総額に対して年率1.0%以内を乗じて得た額  
 ・その他費用：組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など  
 ※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。  
 ※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。  
 ※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## ■委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
 受託会社 : 三菱UFJ信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）  
 販売会社 : SMBC日興証券株式会社

## ■お申込みに際しての留意事項

## ○リスク情報

- 投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- 当ファンドは、主に債券を投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

## 価格変動リスク

公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

## 流動性リスク

市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

## 信用リスク

公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## ○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○